

市民公開講座

誰もがなりうる 「ひきこもり」の正しい知識 ～ SDS 宇部モデルの構築に向けて～

今お困りではありませんか？

大切なご家族や子どもさんのこころの悩み
お部屋から出てこない ...
大切な人を支えたい ..
でもどうしたらいいか分からない ...

その様なお困りごとありませんか？

まずは一歩踏み出して正しい知識を得てみませんか。

定員

(先着順)

会場 **100** 名

※事前申込制

申込締切 10/21 (金)

参加
無料



2022

11.5 (土)

10:00 ~ 12:30 (開場 9:30)

共催：山口大学・宇部市

後援：山口県 / 山口県警察本部 / 宇部市教育委員会 / (公財) 山口県看護協会 / (福) 山口県社会福祉協議会 / (福) 宇部市社会福祉協議会
(一社) 日本精神科看護協会 / (一社) 山口県介護支援専門員協会 / (一社) 宇部市医師会 / (一社) 宇部歯科医師会 / (一社) 宇部薬剤師会
山口県精神保健福祉協会 / 宇部市障害者ケア協議会 / 山口朝日放送 (株) / (株) 宇部日報社 / (株) FM きらら

参加受付はこちらから



誰もがなりうる 「ひきこもり」の 正しい知識



～ SDS 宇部モデルの構築に向けて～

宇部市と山口大学は、“だれ一人として社会から孤立することのない地域づくり”の取り組みを開始します。誰もがなりうる“ひきこもり”の正しい知識を得ることで、さまざまな生きづらさを抱えている人が、その人らしく生きていける地域共生社会を目指します。

SDS (Social Distancing Syndrome) : 社会的距離症候群 (定義)
SDS とは、さまざまな要因によって、社会や人と一時的に距離を取った結果、徐々に社会とのつながりがなくなり、家族以外の人、または家族とのコミュニケーションの機会が減ってしまった状態である。さらに、この状態が長期化することによって自尊感情が低下し、社会参加が難しくなった状態である。

〈プログラム〉

- ・ 講演 山口大学医学部
SDS 支援システム開発講座
教授 山根 俊恵

- ・ パネルディスカッション
コーディネーター：山根 俊恵

パネリスト 家族「ひきこもりの子を持つ親の思い」
元ひきこもり当事者「絶望・焦燥から希望へ」

日付 2022 年 11 月 5 日 (土)

時間 10:00 ~ 12:30 (開場 9:30)

場所 山口大学医学部附属病院
A 棟 1 階オーディトリウム
〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1

定員 会場 100 名 (先着順) オンライン (Zoom) 同時開催 (300 名)

参加対象者 宇部市在住者または宇部市在勤・在学者

申込方法 この講座は、事前申込制です。(先着順)

- ・ 原則、QRコードからの申し込みとします。
- ・ QRコードからの申込みが難しい方は、宇部市障害福祉課及び関係機関の窓口にあります、申し込み用紙に記入の上、お申し込みください。

申込締切：10月21日(金)まで

参加受付は
こちらから



駐車場のご利用

お車で越しの方は、外来棟横の立体駐車場をご利用ください。

お車で越しの方は、駐車券を会場までお持ちください。無料となります。



注意事項

新型コロナウイルス感染予防のため公開講座当日は、参加対象者の皆様に以下のご協力をお願いします。

- マスク着用
- 会場での手指の消毒及び体表温度測定

※なお、風邪などの症状があり、体調不良を感じる場合は、参加をお控えください。

※参加者・運営管理者の感染が判明した場合、保健所等の公的機関へ参加者の氏名及び連絡先を情報提供をする可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

〒755-8505 宇部市南小串1-1-1

山口大学医学部

SDS 支援システム開発講座

e-mail:sdsshakai@yamaguchi-u.ac.jp